

|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 2013年度活動記録  |
| Author(s)    |   |
| Citation     | 大阪大学歴史教育研究会 成果報告書シリーズ. 2014, 10, p. 152-155   |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/32769">https://hdl.handle.net/11094/32769</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 2013 年度活動記録

### 大阪大学歴史教育研究会・2013 年度例会

第 68 回例会（2013 年 4 月 20 日、会場：大阪大学豊中キャンパス全学共通教育棟 1 2 階ステューデントコモンズセミナー室 1）

桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科教授／大阪大学歴史教育研究会代表）

「大阪大学歴史教育研究会 2013 年度の方針について——教科書作成を中心として」

藤川隆男（大阪大学大学院文学研究科教授）「歴史の家」における『アニメで読む世界史』

第 69 回例会（2013 年 5 月 18 日、会場：大阪大学豊中キャンパス待兼山会館）

伊藤一馬（甲南大学・四天王寺大学非常勤講師）「大学教養科目における「中国通史」の試み」

皆川雅樹（専修大学附属高等学校教諭）「歴史的思考力」とアクティブラーニング——高校日本史の授業実践から考えていること」

第 70 回例会（2013 年 6 月 15 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館中庭会議室）

「市民のための世界史」教科書の執筆構想について

(1) 古代・中世 荒川正晴（大阪大学大学院文学研究科教授）

(2) 近世 桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科教授／大阪大学歴史教育研究会代表）

第 71 回例会（2013 年 7 月 20 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

「市民のための世界史」教科書の執筆構想について

(1) ヨーロッパの古代・中世 栗原麻子（大阪大学大学院文学研究科准教授）

(2) アジアの近現代 桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科教授／大阪大学歴史教育研究会代表）

第 72 回例会（2013 年 10 月 19 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館中庭会議室）

「市民のための世界史」教科書の執筆構想について

(1) 近世以降のヨーロッパ・アメリカと世界史 秋田茂（大阪大学大学院文学研究科教授）

(2) 「市民のための世界史」序章と終章 桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科教授／大阪大学歴史教育研究会代表）

第 73 回例会（2013 年 11 月 16 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

鈴木宏節（大阪大学・三重大学非常勤講師）「突厥文字から見た世界史」

武内康則（日本学術振興会特別研究員 PD（大谷大学））「契丹文字から見た世界史」

第 74 回例会（2013 年 12 月 21 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

吉嶺茂樹（北海道有朋高等学校教諭）「北海道の公立通信制高校でできること——歴史基礎は、

必修だから、通信制でも履修するのです」

《大阪大学大学院文学研究科・大学院生によるグループ報告①》

蒲谷和敏（日本史学 M1）・高岡萌（日本史学 M1）・郭淩寧（東洋史学 M1）

松村悠也（西洋史学 M1）・山田耕一郎（西洋史学 M1）「『国語』形成の比較史——スペインと中国を事例に」

第 75 回例会（2014 年 1 月 18 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

《大阪大学大学院文学研究科・大学院生によるグループ報告②》

今井貴之（日本史学 M1）・清水香穂（日本史学 M1）・福村一弥（日本史学 M1）

岡田陽平（東洋史学 M1）・西山真吾（西洋史学 M1）「外交における『翻訳』——日本史を世界史から見直す」

《大阪大学大学院文学研究科・大学院生によるグループ報告③》

川口敬義（日本史学 M1）・永山愛（日本史学 M1）・遠藤総史（東洋史学 M2）

村上広大（西洋史学 M1）・渋谷武弘（共生文明論 M1）「地名変遷にみる文字・言語」

特別例会（2014 年 2 月 1 日、会場：大阪大学豊中キャンパス文法経本館 2 階大会議室）

セッション 1（福岡大学人文学部歴史学科）

池上大祐（福岡大学ポスト・ドクター）・有村奈津希（福岡大学大学院博士後期課程）

野田真衣（福岡大学大学院博士後期課程）・玉利尚子（福岡大学大学院博士前期課程）

今井宏昌（東京大学大学院博士後期課程・日本学術振興会特別研究員〔福大 O B〕）

「学生報告という挑戦——『地域が語る世界史』を中心として」

セッション 2（大阪大学歴史教育研究会）

後藤敦史（大阪観光大学専任講師）「世界史と日本史を「つなぐ」——太平洋と紀伊半島」

矢景裕子（兵庫県立氷上高等学校教諭）「歴教研出身の高校教師として——歴史学と歴史教育をむすぶ」

セッション 3

座談会 テーマ「地域に生きる世界史」

司会：岡田雅志（大阪大学大学院文学研究科特任研究員）

第 76 回例会（2014 年 3 月 15 日開催予定）

全国歴史教育研究協議会第54回研究大会(2013年7月31日～8月2日、会場:ワークピア横浜)

\*本共同研究代表の桃木至朗が8月1日に「高大連携でつくる新しい歴史教育——普通の教員が教えられる東南アジア史に向けた取り組みから」と題する記念講演をおこなった。

\*本共同研究メンバーの中村武司が7月31日に行われた第4分科会「近代世界システム論をどう授業に取り込むか」に共同研究者として参加した。同分科会では、主要研究協力者の大西信行が「近代世界システムとアジア」と題する提案をおこなった。

「日本と世界が出会うまち・堺 2013」プロジェクト

\*大阪大学歴史教育研究会、堺市博物館、「日本と世界が出会うまち・堺 2013」プロジェクト研究会の共催事業として、堺の国際交流の歴史にスポットをあてた「日本と世界が出会うまち・堺 2013」プロジェクトを実施した。

(1)「日本と世界が出会うまち・堺 2013」教育セミナー(2013年8月11日、会場:堺市立西文化会館(ウェスティ)ホール)

\*本共同研究代表の桃木至朗が「日本と世界が出会うまち・堺——日本史と世界史の統合」と題する講演をおこなった。

(2)シンポジウム(2013年10月6日、会場:堺市博物館)

\*本共同研究代表の桃木至朗がパネルディスカッションにパネラーとして参加した。

東方学会平成25年度秋季学術大会(2013年11月8日、会場:日本教育会館)

\*シンポジウム「高大連携で取り組むアジア史教育の再建」にて、本共同研究代表の桃木至朗が趣旨説明をおこなった。

\*主要研究協力者の大西信行が上記シンポジウムのコメンテーターとして参加した。

代表

桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科教授）

大阪大学側世話役

秋田 茂（大阪大学大学院文学研究科教授）

飯塚一幸（大阪大学大学院文学研究科教授）

堤 一昭（大阪大学大学院文学研究科教授）

高校・中学教員側世話役

大西信行（中央大学杉並高等学校教諭）

置村公男（六甲中学校・高等学校教諭）

鍵谷寛佑（関西学院高等部・甲南中学校非常勤講師）

印牧定彦（元京都市立高等学校教諭）

小林克則（NPO 法人神奈川歴史教育研究会副理事長）

齊藤若菜（豊中市立第七中学校教諭）

笹川裕史（大阪教育大学附属天王寺中学校・高等学校天王寺校舎教諭）

庄司春子（同志社中学・高等学校教諭）

矢部正明（関西大学中等部・高等部教諭）

山下宏明（大阪府立園芸高等学校教諭）

吉嶺茂樹（北海道有朋高等学校教諭）

龍英一郎（福岡大学附属大濠高等学校教諭）

研究会事務局

伊藤一馬（大阪大学大学院文学研究科特任研究員）

猪原達生（大阪大学大学院文学研究科博士後期課程学生・日本学術振興会特別研究員）

岡田雅志（大阪大学大学院文学研究科特任研究員）

中村 翼（大阪大学大学院文学研究科特任研究員）

森本慶太（大阪大学大学院文学研究科特任研究員）